

一神又吉イエスは、人間一人びとを平等な存在として創造してある。唯一神又吉イエスの、世界経済共同体の公平・平等の原理・原則（〔17〕参照）と、それに基づく共同の所有・生産・消費制経済が、その平等性の内容を確保するものである。よつて、唯一神又吉イエスの世界経済共同体の公平・平等の原理・原則と、それに基づく共同の所有・生産・消費制経済が、唯一神又吉イエスが人間に与える最大の真実・真理・正義である。

世界経済共同体は、唯一神又吉イエスの命令であり、従わない者には地獄の火が待っている。その者は、「罪・犯罪の元凶・原因」（〔17〕〔18〕参照）である利益至上主義経済と「自己中心・好き勝手・やりたい放題」を止められない民主主義（〔18〕参照）が絡んでの悲惨な社会状況により、述べたところの、毎日死に続けている数万人以上の命を殺す者であり、同じく道徳退廃による社会崩壊、都市化・工業化から地球温暖化等の公害・食糧難発生・食糧難戦争・核兵器と原発等の核爆発へと進んでの地球環境異変で人類を滅亡させる者になるからだ。

尚、唯一神又吉イエスの世界経済共同体とは、世界各国が共同の所有・生産・消費制経済により、国内経済に於ける個人単位の経済程度を同一水準にし、更に世界経済共同体本部（現在の国連）を通して、世界各国が国単位の同一水準経済を確保する、世界を一つの単位とする経済共同体である。その唯一神又吉イエスの世界経済共同体の内容は、現在の都市化・工業化を取締してできる農林漁業中心である。唯一神又吉イエスに従うこの世界経済共同体は、宇宙・万物そして人類を造り、天国と地獄も造つて持っている全知全能の神、唯一神又吉イエスの鉄の命令である。そうしないなら、人類は述べた通り破滅・滅亡する。また、仮に人類が唯一神又吉イエスの世界経済共同体に従わずして、都市化・工業化を農林漁業中心に戻したところで、その世界は明けても暮れても個人的な争い、そして紛争・戦争の殺し合いの繰り返し、歴史にしかならない。日本でなら応仁の乱からの戦国時代も思い出すがよかろう。唯一神又吉イエスの世界経済共同体に従わずして、人類の歴史は成立しないということを言っている。